

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名:福井県)(地区名:美浜新庄)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))  
 (都道府県名:福井県)(地区名:美浜新庄)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	-	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮		○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	4,430	A
			スマート農業技術等の導入	-	A	A
			大区画化ほ場の割合	%	54.2	B
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	3,156	B
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	8	
			産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	171.7
	②高収益作物の作付面積の増加率	%		157.9		
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	93.2	A
			担い手への面的集積率	%	89.1	B
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0	A
	②作付率の増加ポイント	%	0.0			
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,713	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	-	○	A
	②地域活性化に係る話し合い			○		
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	-	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	-	○	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	-	a	A	
		②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組	-	a		
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	-	a				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	—	B
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	68.4	B

## 美浜新庄地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	3,449,394
当該事業による費用	②	2,925,237
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	524,157
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,843,228
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.11

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業 による費 用	関連事業 による費 用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
当該事業	区画整理	-	2,925,237	-	846,172	347,879	3,423,530
	計	-	2,925,237	-	846,172	347,879	3,423,530
その他	揚水機場	2,254	-	-	3,351	215	5,390
	用水施設	13,779	-	-	11,159	4,464	20,474
	計	16,033	-	-	14,510	4,679	25,864
合 計		16,033	2,925,237	-	860,682	352,558	3,449,394

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		26,805	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		183,421	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 1,151	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>多面的機能の発揮に関する効果</b>			
景観・環境保全効果		4,599	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		4,946	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		218,620	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	21,696	5,109	0.0	0	21,696	20,862	
2	R9	1.0816	2	21,696	5,109	12.4	634	22,330	20,645	
3	R10	1.1249	3	21,696	5,109	24.9	1,272	22,968	20,418	
4	R11	1.1699	4	21,696	5,109	37.4	1,911	23,607	20,179	
5	R12	1.2167	5	21,696	5,109	49.9	2,549	24,245	19,927	
6	R13	1.2653	6	21,696	5,109	62.4	3,188	24,884	19,666	
7	R14	1.3159	7	21,696	5,109	74.9	3,827	25,523	19,396	
8	R15	1.3686	8	21,696	5,109	87.5	4,470	26,166	19,119	
9	R16	1.4233	9	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	18,833	
10	R17	1.4802	10	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	18,109	
11	R18	1.5395	11	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	17,411	
12	R19	1.6010	12	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	16,743	
13	R20	1.6651	13	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	16,098	
14	R21	1.7317	14	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	15,479	
15	R22	1.8009	15	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	14,884	
16	R23	1.8730	16	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	14,311	
17	R24	1.9479	17	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	13,761	
18	R25	2.0258	18	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	13,232	
19	R26	2.1068	19	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	12,723	
20	R27	2.1911	20	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	12,234	
21	R28	2.2788	21	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	11,763	
22	R29	2.3699	22	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	11,311	
23	R30	2.4647	23	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	10,876	
24	R31	2.5633	24	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	10,457	
25	R32	2.6658	25	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	10,055	
26	R33	2.7725	26	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	9,668	
27	R34	2.8834	27	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	9,296	
28	R35	2.9987	28	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	8,939	
29	R36	3.1187	29	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	8,595	
30	R37	3.2434	30	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	8,264	
31	R38	3.3731	31	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	7,947	
32	R39	3.5081	32	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	7,641	
33	R40	3.6484	33	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	7,347	
34	R41	3.7943	34	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	7,065	
35	R42	3.9461	35	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	6,793	
36	R43	4.1039	36	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	6,532	
37	R44	4.2681	37	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	6,280	
38	R45	4.4388	38	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	6,039	
39	R46	4.6164	39	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	5,806	
40	R47	4.8010	40	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	5,583	
41	R48	4.9931	41	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	5,368	
42	R49	5.1928	42	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	5,162	
43	R50	5.4005	43	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	4,963	
44	R51	5.6165	44	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	4,773	
45	R52	5.8412	45	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	4,589	
46	R53	6.0748	46	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	4,412	
47	R54	6.3178	47	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	4,243	
48	R55	6.5705	48	21,696	5,109	100.0	5,109	26,805	4,080	
合計 (総便益額)									547,877	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	宮農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 3,273	186,694	0.0	0	△ 3,273	△ 3,147	
2	R9	1.0816	2	△ 3,273	186,694	12.4	23,150	19,877	18,377	
3	R10	1.1249	3	△ 3,273	186,694	24.9	46,487	43,214	38,416	
4	R11	1.1699	4	△ 3,273	186,694	37.4	69,824	66,551	56,886	
5	R12	1.2167	5	△ 3,273	186,694	49.9	93,160	89,887	73,878	
6	R13	1.2653	6	△ 3,273	186,694	62.4	116,497	113,224	89,484	
7	R14	1.3159	7	△ 3,273	186,694	74.9	139,834	136,561	103,778	
8	R15	1.3686	8	△ 3,273	186,694	87.5	163,357	160,084	116,969	
9	R16	1.4233	9	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	128,870	
10	R17	1.4802	10	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	123,916	
11	R18	1.5395	11	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	119,143	
12	R19	1.6010	12	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	114,567	
13	R20	1.6651	13	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	110,156	
14	R21	1.7317	14	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	105,920	
15	R22	1.8009	15	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	101,850	
16	R23	1.8730	16	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	97,929	
17	R24	1.9479	17	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	94,163	
18	R25	2.0258	18	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	90,543	
19	R26	2.1068	19	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	87,061	
20	R27	2.1911	20	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	83,712	
21	R28	2.2788	21	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	80,490	
22	R29	2.3699	22	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	77,396	
23	R30	2.4647	23	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	74,419	
24	R31	2.5633	24	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	71,557	
25	R32	2.6658	25	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	68,805	
26	R33	2.7725	26	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	66,157	
27	R34	2.8834	27	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	63,613	
28	R35	2.9987	28	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	61,167	
29	R36	3.1187	29	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	58,813	
30	R37	3.2434	30	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	56,552	
31	R38	3.3731	31	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	54,378	
32	R39	3.5081	32	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	52,285	
33	R40	3.6484	33	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	50,274	
34	R41	3.7943	34	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	48,341	
35	R42	3.9461	35	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	46,482	
36	R43	4.1039	36	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	44,694	
37	R44	4.2681	37	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	42,975	
38	R45	4.4388	38	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	41,322	
39	R46	4.6164	39	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	39,732	
40	R47	4.8010	40	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	38,205	
41	R48	4.9931	41	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	36,735	
42	R49	5.1928	42	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	35,322	
43	R50	5.4005	43	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	33,964	
44	R51	5.6165	44	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	32,658	
45	R52	5.8412	45	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	31,401	
46	R53	6.0748	46	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	30,194	
47	R54	6.3178	47	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	29,032	
48	R55	6.5705	48	△ 3,273	186,694	100.0	186,694	183,421	27,916	
合計 (総便益額)									3,147,350	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 455	
2	R9	1.0816	2	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 437	
3	R10	1.1249	3	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 420	
4	R11	1.1699	4	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 404	
5	R12	1.2167	5	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 389	
6	R13	1.2653	6	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 374	
7	R14	1.3159	7	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 359	
8	R15	1.3686	8	△ 473	△ 678	0.0	0	△ 473	△ 346	
9	R16	1.4233	9	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 809	
10	R17	1.4802	10	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 778	
11	R18	1.5395	11	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 748	
12	R19	1.6010	12	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 719	
13	R20	1.6651	13	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 691	
14	R21	1.7317	14	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 665	
15	R22	1.8009	15	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 639	
16	R23	1.8730	16	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 615	
17	R24	1.9479	17	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 591	
18	R25	2.0258	18	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 568	
19	R26	2.1068	19	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 546	
20	R27	2.1911	20	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 525	
21	R28	2.2788	21	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 505	
22	R29	2.3699	22	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 486	
23	R30	2.4647	23	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 467	
24	R31	2.5633	24	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 449	
25	R32	2.6658	25	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 432	
26	R33	2.7725	26	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 415	
27	R34	2.8834	27	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 399	
28	R35	2.9987	28	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 384	
29	R36	3.1187	29	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 369	
30	R37	3.2434	30	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 355	
31	R38	3.3731	31	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 341	
32	R39	3.5081	32	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 328	
33	R40	3.6484	33	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 315	
34	R41	3.7943	34	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 303	
35	R42	3.9461	35	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 292	
36	R43	4.1039	36	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 280	
37	R44	4.2681	37	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 270	
38	R45	4.4388	38	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 259	
39	R46	4.6164	39	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 249	
40	R47	4.8010	40	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 240	
41	R48	4.9931	41	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 231	
42	R49	5.1928	42	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 222	
43	R50	5.4005	43	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 213	
44	R51	5.6165	44	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 205	
45	R52	5.8412	45	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 197	
46	R53	6.0748	46	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 189	
47	R54	6.3178	47	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 182	
48	R55	6.5705	48	△ 473	△ 678	100.0	△ 678	△ 1,151	△ 175	
合計 (総便益額)									△ 19,830	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	4,599	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	4,599	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	4,599	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	4,599	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	4,599	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	4,599	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	4,599	0.0	0	0	0	
8	R15	1.3686	8	-	4,599	0.0	0	0	0	
9	R16	1.4233	9	-	4,599	100.0	4,599	4,599	3,231	
10	R17	1.4802	10	-	4,599	100.0	4,599	4,599	3,107	
11	R18	1.5395	11	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,987	
12	R19	1.6010	12	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,873	
13	R20	1.6651	13	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,762	
14	R21	1.7317	14	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,656	
15	R22	1.8009	15	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,554	
16	R23	1.8730	16	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,455	
17	R24	1.9479	17	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,361	
18	R25	2.0258	18	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,270	
19	R26	2.1068	19	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,183	
20	R27	2.1911	20	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,099	
21	R28	2.2788	21	-	4,599	100.0	4,599	4,599	2,018	
22	R29	2.3699	22	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,941	
23	R30	2.4647	23	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,866	
24	R31	2.5633	24	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,794	
25	R32	2.6658	25	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,725	
26	R33	2.7725	26	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,659	
27	R34	2.8834	27	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,595	
28	R35	2.9987	28	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,534	
29	R36	3.1187	29	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,475	
30	R37	3.2434	30	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,418	
31	R38	3.3731	31	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,363	
32	R39	3.5081	32	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,311	
33	R40	3.6484	33	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,261	
34	R41	3.7943	34	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,212	
35	R42	3.9461	35	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,165	
36	R43	4.1039	36	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,121	
37	R44	4.2681	37	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,078	
38	R45	4.4388	38	-	4,599	100.0	4,599	4,599	1,036	
39	R46	4.6164	39	-	4,599	100.0	4,599	4,599	996	
40	R47	4.8010	40	-	4,599	100.0	4,599	4,599	958	
41	R48	4.9931	41	-	4,599	100.0	4,599	4,599	921	
42	R49	5.1928	42	-	4,599	100.0	4,599	4,599	886	
43	R50	5.4005	43	-	4,599	100.0	4,599	4,599	852	
44	R51	5.6165	44	-	4,599	100.0	4,599	4,599	819	
45	R52	5.8412	45	-	4,599	100.0	4,599	4,599	787	
46	R53	6.0748	46	-	4,599	100.0	4,599	4,599	757	
47	R54	6.3178	47	-	4,599	100.0	4,599	4,599	728	
48	R55	6.5705	48	-	4,599	100.0	4,599	4,599	700	
合計 (総便益額)									66,514	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果					備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計			
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①
1	R8	1.0400	1	4,060	886	0.0	0	4,060	3,904	
2	R9	1.0816	2	4,060	886	12.4	110	4,170	3,855	
3	R10	1.1249	3	4,060	886	24.9	221	4,281	3,806	
4	R11	1.1699	4	4,060	886	37.4	331	4,391	3,753	
5	R12	1.2167	5	4,060	886	49.9	442	4,502	3,700	
6	R13	1.2653	6	4,060	886	62.4	553	4,613	3,646	
7	R14	1.3159	7	4,060	886	74.9	664	4,724	3,590	
8	R15	1.3686	8	4,060	886	87.5	775	4,835	3,533	
9	R16	1.4233	9	4,060	886	100.0	886	4,946	3,475	
10	R17	1.4802	10	4,060	886	100.0	886	4,946	3,341	
11	R18	1.5395	11	4,060	886	100.0	886	4,946	3,213	
12	R19	1.6010	12	4,060	886	100.0	886	4,946	3,089	
13	R20	1.6651	13	4,060	886	100.0	886	4,946	2,970	
14	R21	1.7317	14	4,060	886	100.0	886	4,946	2,856	
15	R22	1.8009	15	4,060	886	100.0	886	4,946	2,746	
16	R23	1.8730	16	4,060	886	100.0	886	4,946	2,641	
17	R24	1.9479	17	4,060	886	100.0	886	4,946	2,539	
18	R25	2.0258	18	4,060	886	100.0	886	4,946	2,442	
19	R26	2.1068	19	4,060	886	100.0	886	4,946	2,348	
20	R27	2.1911	20	4,060	886	100.0	886	4,946	2,257	
21	R28	2.2788	21	4,060	886	100.0	886	4,946	2,170	
22	R29	2.3699	22	4,060	886	100.0	886	4,946	2,087	
23	R30	2.4647	23	4,060	886	100.0	886	4,946	2,007	
24	R31	2.5633	24	4,060	886	100.0	886	4,946	1,930	
25	R32	2.6658	25	4,060	886	100.0	886	4,946	1,855	
26	R33	2.7725	26	4,060	886	100.0	886	4,946	1,784	
27	R34	2.8834	27	4,060	886	100.0	886	4,946	1,715	
28	R35	2.9987	28	4,060	886	100.0	886	4,946	1,649	
29	R36	3.1187	29	4,060	886	100.0	886	4,946	1,586	
30	R37	3.2434	30	4,060	886	100.0	886	4,946	1,525	
31	R38	3.3731	31	4,060	886	100.0	886	4,946	1,466	
32	R39	3.5081	32	4,060	886	100.0	886	4,946	1,410	
33	R40	3.6484	33	4,060	886	100.0	886	4,946	1,356	
34	R41	3.7943	34	4,060	886	100.0	886	4,946	1,304	
35	R42	3.9461	35	4,060	886	100.0	886	4,946	1,253	
36	R43	4.1039	36	4,060	886	100.0	886	4,946	1,205	
37	R44	4.2681	37	4,060	886	100.0	886	4,946	1,159	
38	R45	4.4388	38	4,060	886	100.0	886	4,946	1,114	
39	R46	4.6164	39	4,060	886	100.0	886	4,946	1,071	
40	R47	4.8010	40	4,060	886	100.0	886	4,946	1,030	
41	R48	4.9931	41	4,060	886	100.0	886	4,946	991	
42	R49	5.1928	42	4,060	886	100.0	886	4,946	952	
43	R50	5.4005	43	4,060	886	100.0	886	4,946	916	
44	R51	5.6165	44	4,060	886	100.0	886	4,946	881	
45	R52	5.8412	45	4,060	886	100.0	886	4,946	847	
46	R53	6.0748	46	4,060	886	100.0	886	4,946	814	
47	R54	6.3178	47	4,060	886	100.0	886	4,946	783	
48	R55	6.5705	48	4,060	886	100.0	886	4,946	753	
合計 (総便益額)									101,317	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻（主食用米、醸造用米、WCS）、さつまいも、ねぎ

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額<sup>※1</sup> + 作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
		ha	ha	ha	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
水稻(主食)	新設	30.5	27.0	27.0	単収増(乾田化)	488	517	29	7.8	254	1,981	89	1,763
				△ 3.5	作付減	-	-	488	△ 17.1	254	△ 4,343	-	-
					小計	-	-	-	△ 9.3	254	△ 2,362	-	1,763
	更新	30.5	30.5	30.5	単収増(水管理改良)	205	488	283	86.3	254	21,920	89	19,509
				小計	-	-	-	86.3	254	21,920	-	19,509	
				水稻(主食)計	-	-	-	77.0	254	19,558	-	21,272	
水稻(醸造)	新設	2.8	3.4	2.8	単収増(乾田化)	247	262	15	0.4	331	132	89	117
				0.6	作付増	-	-	262	1.6	331	530	-	-
					小計	-	-	-	2.0	331	662	-	117
	更新	2.8	2.8	2.8	単収増(水管理改良)	104	247	143	4.0	331	1,324	89	1,178
				小計	-	-	-	4.0	331	1,324	-	1,178	
				水稻(醸造)計	-	-	-	6.0	331	1,986	-	1,295	
水稻(WCS)	新設	1.8	3.4	1.8	単収増(乾田化)	497	527	30	0.5	12	6	28	2
				1.6	作付増	-	-	527	8.4	12	101	-	-
					小計	-	-	-	8.9	12	107	-	2
	更新	1.8	1.8	1.8	単収増(水管理改良)	209	497	288	5.2	12	62	28	17
				小計	-	-	-	5.2	12	62	-	17	
				水稻(WCS)計	-	-	-	14.1	12	169	-	19	
水田計	新設	35.1	33.8							△ 1,593		1,882	
	更新	35.1	35.1							23,306		20,704	
さつまいも	新設	1.6	2.9	1.3	作付増	-	-	1,498	19.5	292	5,694	31	1,765
					小計	-	-	-	19.5	292	5,694	-	1,765
	更新	1.6	1.6	1.6	単収増(湿潤かんがい)	1,303	1,498	195	3.1	292	905	92	833
ねぎ	新設	0.3	2.0	1.7	作付増	-	-	1,533	26.1	350	9,135	16	1,462
					小計	-	-	-	26.1	350	9,135	-	1,462
					さつまいも計	-	-	-	22.6	292	6,599	-	2,598
	更新	0.3	0.3	0.3	単収増(湿潤かんがい)	1,357	1,533	176	0.5	350	175	91	159
普通畑計	新設	1.9	4.9							14,829		3,227	
	更新	1.9	1.9							1,080		992	
	新設									13,236		5,109	
	更新									24,386		21,696	
	合計									37,622		26,805	

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」・美浜町の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」・新設整備では、県、美浜町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- ・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
- ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻(主食用米、醸造用米、WCS)、さつまいも、ねぎ

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (利用集積)	18,524,804	1,320,958	-	-	17,203,846	3.8	65,375
さつまいも (利用集積)	7,464,507	1,823,321	-	-	5,641,186	1.3	7,334
ねぎ (利用集積)	12,024,001	1,961,192	-	-	10,062,809	1.7	17,107
水稻(区画整理) 個別→個別	18,496,058	11,733,366	-	-	6,762,692	2.6	17,583
水稻(区画整理) 担い手→担い手	1,651,239	1,147,731	-	-	503,508	27.4	13,796
水稻(区画整理) 個別→担い手	18,496,058	1,320,958	-	-	17,175,100	3.8	65,265
さつまいも (区画整理)	1,951,918	1,823,321	-	-	128,597	1.6	206
ねぎ (区画整理)	2,054,621	1,961,192	-	-	93,429	0.3	28
水稻(用排水改良) 個別	-	-	18,405,278	18,496,058	△90,780	6.6	△599
水稻(用排水改良) 担い手	-	-	1,560,459	1,651,239	△90,780	28.5	△2,587
さつまいも (用排水改良)	-	-	1,917,564	1,951,918	△34,354	1.6	△55
ねぎ (用排水改良)	-	-	1,947,821	2,054,621	△106,800	0.3	△32
新 設							186,694
更 新							△3,273
合 計							183,421

### ・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

農道、排水路、揚水機場、用水施設

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		1,055	1,733	△ 678
更新整備		582	1,055	△ 473
合計				△ 1,151

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 景観・環境保全効果

##### ○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay : 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method : 仮想市場法) により効果を算定した。

##### ○対象施設

環境保全施設

##### ○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額<sup>※</sup> × 受益範囲世帯数 × {C1 / (C1 + C2)}  
ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

##### ○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	4,599	70,169	70,169	-	4,599

## (5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻（主食用米、醸造用米、WCS）、さつまいも、ねぎ

### ○効果算定式

年効果額＝年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）  
 ＋ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額	増加供給熱量 (千kcal)	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円）	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal）	当該土地改良 事業における 年効果額  ⑤＝①×③ ＋②×④
	①	②	③	④	
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	13,236	23,960	49	9.9	886
更新整備	24,386	289,368	49	9.9	4,060
合計	37,622	313,328			4,946

- ・増加粗収益額  
：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額  
：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ

#### 【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和4～5年）「北陸農林水産統計年報」北陸農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成27年8月）「平成27年基準農業物価統計」農林水産省
- ・ 令和2年国勢調査(<https://www.e-stat.go.jp>)
- ・ 農林水産省統計部（令和2年）「令和2年農林業センサス福井県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ